



2年生が神戸研修を実施しました

2月3日（金）に2年生が『知ろう！活かそう！防災・減災・大地震』のスローガンのもと、神戸で防災・減災学習を行いました。行きのバスの中では「神戸新聞の7日間」の映画を見ながら事前学習を行い、「人と未来防災センター」ではシアターやホールでの映像・展示物を見て阪神淡路大震災の実態や災害のしくみ、防災・減災の工夫を熱心に学習していました。これらの学習を通して、災害時に自分自身や周りの人たちを守るためにはどうしたらよいかを考えることができたのではないのでしょうか。午後は8グループに分かれて、地元ボランティアさんの案内で震災遺構を巡りました。神戸の街の中に今も残る震災の爪痕と亡くなった方々への慰霊の思いに触れた時間になりました。



小学6年生の時に新型コロナウイルス感染症のために修学旅行が県内日帰り旅行になった2年生にとっては、この研修が小中学校を通して初めての県外研修でした。とはいえ、今から28年前に6000人以上の方が亡くなられた場所に「学習」に行くということで、ワクワクする気持ちをなんとか理性で押さえこんで、「集団行動」と「感染症対策」をしっかりと意識して行動していました。また、事前学習でもお願いしていた「大人対応（あいさつ・感謝の気持ち・言葉づかい）」もとても素晴らしかったです。次は5月の修学旅行に向けての平和学習が始まりますね。限られた期間で準備を進め、前日・当日の会を進行してくれた実行委員の皆さん、ありがとうございました。

学習の成果が表れています！

今月、「倉敷市民文学賞」と「良寛椿の会全国短歌・俳句募集」で、多くの生徒が様々な賞を受賞しました。「倉敷市民文学賞」では小中学生の短歌の部で2年生の3名が大賞・優秀賞・佳作を、「良寛椿の会全国短歌・俳句募集」ではジュニアの部で2年生3名と3年生2名が、短歌の第二席・第三席・佳作を、俳句の第二席・佳作を受賞しました。（一般の部では国語科のS先生の短歌も第二席に入選されていました。）これらの作品は1学期の国語の授業の中で考え、推敲した短歌や俳句です。皆さんの日常生活や学校生活をありのまま切り取って、素直な気持ちをストレートに表した夏の句が多く、とてもさわやかな印象を受けます。（授賞式では「若者らしい躍動感」や「爽快感」が素晴らしいとの講評を受けていました。）生徒玄関に掲示されますので、1学期に勉強した短歌や俳句の学習を思い出しながら鑑賞してみてください。皆さんの来年の短歌・俳句作りの参考にもなるかもしれませんね。

新制服を地域の方々に紹介しました

2月12日（日）に玉島西公民館で行われた玉島西中学校区人権学習推進委員会発表会で、玉島西中学校のSDGs活動として、『新制服づくり』の紹介をしました。実際に新制服の実物を地域の方々に見ていただき、「中学生らしい制服」「中学生が制服づくりにかかわったのが素晴らしい」「着る生徒だけでなく保護者にも配慮している」「近隣の高校や中学校と見分けがつく」と、おおむね好評価をいただきました。これから3年間かけて、今の制服から新制服に変更していくことになります。

